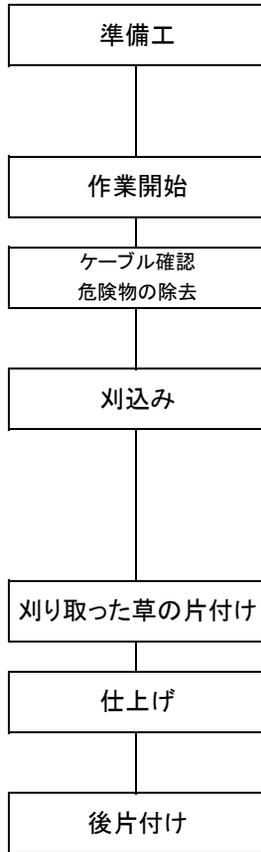


下草刈りの作業手順

・苗木植栽地に繁茂する雑草木を刈り取る(肩掛け式草刈り機または手鎌使用)



内 容	留 意 事 項
作業打合わせ(KY活動)	安全作業指示書による
作業位置の確認	発生草搬入場所の確認も行う
作業人員の確認	作業分担・配置の確認
使用機械・工具の点検	機械・器具の不備はないか始業前、終業後点検の励行
保護具の確認	防護メガネ・肩掛けバンド等
作業前にケーブル露出箇所の確認	露出ケーブルの周りは手鎌等にて人力で刈り取る。 露出ケーブルは、注意看板又はスプレー等で明示し、刈り手に場所を説明
危険物(ゴミ等)の除去	不法投棄による危険物は前もって除去する
肩掛け式草刈り機または、手鎌にて刈り込み	飛石対策のため、草刈り機の刃を60枚刃(チップソー)を使用する。 但し、本線・ランプ・歩道近接部等では トリマー式草刈機にて施工する 肩掛け式草刈り機は、肩掛けバンドを使用し自分に刃が当たらないように気をつける 刈り手、寄せ手の作業間隔を5m以上開ける 刈り手は防護メガネを着用 のり面等の急な斜面は足元確認(40度以上の斜面で高さが2m以上の箇所での作業は、「ロープ高所作業」の特別教育受講者に限る) 近隣の育成樹木を損傷する事がないよう十分注意して作業する 手鎌による刈り込みは、耐切創用の手袋を使用する
刈り倒した草を寄せ集める	刈り取った草は樹木の根元に敷き、地表面からの水分蒸発を防ぐようにする
排水溝内の清掃	排水溝内に刈った草はないか、 草は散乱してないか確認する
終礼の実施	ヒヤリハットの実施

注意事項
作業床が地表より2.0m以上及び危険性のある高さに関しては、事前に親綱を設置し安全帯を使用する また、40度以上の斜面で高さが2m以上の箇所での作業は、「ロープ高所作業」の特別教育を受けた作業員が行うものとする。
親綱の設置はGr支柱・遮音壁支柱への添加や鋼杭を打込んで親綱を設置する
作業員が墜落する恐れのある箇所は、高所作業車を使用する
高所作業車は、安全帯を着用する(高さ5m以下は胴ベルト型の使用可。5m以上はフルハーネス型を使用)
ケーブル露出箇所は、機械刈り禁止
刈り手は保護具(防護メガネ・肩掛けバンド)确实着用
無断で民地へ立ち寄らない
夏期ハチ注意(殺虫剤・ボイズンリムーバーの携帯)
本線・ランプ・歩道近接部等で飛石等により第三者被害を及ぼす可能性のある場合は トリマー式草刈機にて施工する
振動工具を使用する際は、決められた作業時間及び休憩時間を厳守すること